

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401
山田とし子
973-4710
新井たくみ
978-0175
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

深刻な相談つぎつぎと

「何でも合」は、かけこみ

八回目となる「何でも相談会」を八月二〇日に行い、十四人の方が相談に訪れました。

これまでの相談件数は、二〇〇件を超え、「困ったことがあったら、『何でも相談会』に」と市民の間でも紹介されるまでに定着してきています。



相談する女性

七三歳の女性は「息子が働かなくなるとサラ金から借金、取り立てに追われ、ノイローゼになって自殺しようと思っていた」と切実です。五三歳の男性も「銀行に勤務していたが、うつ病で退職。サラ金な

サラ金苦で死のうと思っていた

ど六社から借金し、返済できない状況になっていく。など深刻な相談が次々寄せられました。相談が終わった男性は、「毎日、落ち込んでばかりいました。もう一度がんばってみます」と明るい笑顔で帰って行きました。他にも「知り合いに二〇〇万円貸したが返してくれない」「請求漏れの年金があったが、何年遡って請求できるのか」「借



地権付き建物で立ち退きを迫られている」など金銭トラブルや相続、年金相談などに弁護士や税理士、社会保険労務士や四人の日本共産党市議会議員が対応しました。多重債務については、清流道場が毎週水曜日に「道場（相談会）」で引き続き、対応していくことにしています。

格差社会のなかで、失業や生活難による多重債務は深刻なものがあ

国保税の納期を

年八回から一〇回に

国保運営協議会が二一日開かれ、「国民健康保険税を納税しやすい環境づくりが必要」だとして、現在年八回の納期を、来年四月から一〇回に増やす考えであることを明らかにしました。

納期を増やすことについては、共産党市議団が「過酷な重税である国保税について、税の引き下げや少しでも払いやすくするために納期を増やすこと」を一般質問や決算

原水禁世界大会報告集会

9月15日(金)
午後7:00~

富士見公民館

北海道からの平和行進に参加した柴崎康夫さん、土建飯能日高支部から参加した金子均さん、丸山一男さんが報告します。

*新井幸子さんのアコーディオン演奏による平和の歌もあります。

主催：原水爆禁止飯能協議会

す。清流道場や弁護士など連携し、日常的な相談活動に一層力を注ぐことが必要になっています。

審査など機会あるごとに求めてきたもので評価するものです。協議会の中では、議論が白熱し、反対の立場の委員から①費用の増加はいくらか。②納期を増やすことで収納率、収納額の増をどのくらいみているのか。実際に効果はあるのか。③市の窓口で納期を増やしてほしいという要望はあったのか。④納期だけでは解決できない。市が本気になって滞

納をなくす努力が必要。賛成の委員からは、旧名栗村では一〇回だったものが飯能市に合併して八回になって一回の納税額が増えて大変であること。国保税への負担感、何とかしてほしいという声をたくさん聞いている。徴税だけでなく払いやすい方法を実施するのも市の役割である。などの意見が出されました。事務的費用が約一〇〇〇万円かかることから、「費用対効果を考えると必要ない」とする委員と「年間約二億円の滞納が出ることを考えると一つの方策として実施すべき」とする委員と意見が分か

波 紋

（原油高でお菓子が値上がり）という面白い記事がありました。なんでもお菓子の値段が原油高であがると思いませんか。原因はお菓子の主原料である砂糖の値段があがったことにあるというのですが、いま一つピンとこないのです。そこで記事をおつてみると、砂糖価格高騰の背景には砂糖の最大の生産国・輸出国であるブラジルでエタノールを燃料に走る自動車が増加しているからだといわれます。風が吹けば桶屋が儲かる。みたいな話ですが、エタノールは砂糖の原料のサトウキビから搾り取った成分を発酵させるとできるのだそう、ブラジルでは、安くてクリーンなエネルギーのエタノールに注目が集まり（お砂糖で車が走る）ことが現実になっているというのです。その結果、エタノールの生産に利用されるサトウキビの量が増え、砂糖生産に利用される量が減少して価格高騰に結びついてくるというわけなんです。が、お分かりいただけただろうか。それでもね、ガソリンの値上げに、砂糖の値上げ、いつも苦しんでいるのは我々庶民なんですよ。

出産育児一時金

「二〇万円」を「二五万円」に増額

葬祭費

「二〇万円」を「五万円」に減額!

二一日に開催された、国民健康保険運営協議会（小島博会長）には、一七年度の国民健康保険特別会計決算と飯能市立病院特別会計決算状況の審議と、あらたに条例改正（案）と国保税の納期の変更について提案されました。

一〇月一日から実施しようとするもので、九月議会に提案する前に協議会に出されました。

金子としえ市議は、「少子化が叫ばれている中で出産育児一時金を増額するのは適切な対応だ」と思うが、何で葬祭費を削るのか。高齢者は、年金課税が強化されて生活自体が脅かされている。医療費も今後上がる一方ではないか。そして人生の終焉を迎えたときの葬

条例改正（案）は、出産育児一時金「三〇万円」を「二五万円」に増額し、同時に葬祭費「二〇万円」を「五万円」に減額し、

日、環境審議会が開かれました。テトラクロロエチレン問題は、樺本チェイン上流の二事業所で調査を実施。現在結果について県に報告がされています。対策が必要となれば指導が行われ、市にも報告される事になっていきます。また十七年度の公害関係各種調査の結果が示され、道路騒音では県道二本木飯能線の川寺地内のスイミングスクール

祭費まで削るなんてあまりにも冷たい考え方で見直すべきである」と発言しました。実際に出産費の増額分は、昨年一二年の出産があつたので、昨年の例にならつて計算してみても五六〇万円増切実です。

付近が昼夜共に環境基準を超えています。また河川の関係では六河川十三カ所で水質検査が行われています。特に大腸菌郡数は年間平均値では、すべての測定地点で環境基準を大幅に上回る数値が出ています。大腸菌を減らすには、下水道整備や合併処理浄化槽の設置が大きな効果を発揮すると言われています。今後の対策が求められます。

現在、飯能市の下水道処理世帯数は、約一万六八〇〇世帯、普及率は五八%で、下水道の要求は切実です。

また、現在浄化センター西側には、四・一ha約三十億円で購入した未利用地があります。飯能市の十二万人都市構想により、購入をしたもののまったく手が付けられず現在に至っている土地の利用を検討すること。

下水道整備の現状では、下水道認可区域になつているにも係わらず、区画整理の進捗が思わしくなく、岩沢南部地区では三・九%、北部で六・八%、双柳南部では二七・三%にとどまっています。下水道整備を大きな柱として始めた区画整理も広範囲に着手したため、区画整理事業に大幅な見直しが必要になっていきます。

未利用地の問題では、この間、わが党の指摘に、「窒素やリンを取り除く高度処理施設の建設のための用地として利用する」

と述べているが、未だにその目途も立たないまま、庁内では未利用地検討委員会が三回開かれていくとのこと。

「住民の意見を取り入れて土地利用を検討したい」としていますが、三〇億円のツケを下水道料金に転嫁するようなことがあつてはなりません。

騒音、水質汚染など環境基準超す

環境審議会開かれる

飯能市でも、テトラクロロエチレンによる地下水汚染など、環境問題が発生しているなか、二一

日、環境審議会が開かれました。テトラクロロエチレン問題は、樺本チェイン上流の二事業所で調査を実施。現在結果について県に報告がされています。対策が必要となれば指導が行われ、市にも報告される事になっていきます。また十七年度の公害関係各種調査の結果が示され、道路騒音では県道二本木飯能線の川寺地内のスイミングスクール

現在、飯能市の下水道処理世帯数は、約一万六八〇〇世帯、普及率は五八%で、下水道の要求は切実です。

また、現在浄化センター西側には、四・一ha約三十億円で購入した未利用地があります。飯能市の十二万人都市構想により、購入をしたもののまったく手が付けられず現在に至っている土地の利用を検討すること。

下水道整備の現状では、下水道認可区域になつているにも係わらず、区画整理の進捗が思わしくなく、岩沢南部地区では三・九%、北部で六・八%、双柳南部では二七・三%にとどまっています。下水道整備を大きな柱として始めた区画整理も広範囲に着手したため、区画整理事業に大幅な見直しが必要になっていきます。

未利用地の問題では、この間、わが党の指摘に、「窒素やリンを取り除く高度処理施設の建設のための用地として利用する」

と述べているが、未だにその目途も立たないまま、庁内では未利用地検討委員会が三回開かれていくとのこと。



住民要望に応えらられる下水道審議会だ

市は国に準じて実施した額せずに実施することが出来ます。一七年度国保会計決算では、一億五千万円を基金に積み立てています。

また、現在浄化センター西側には、四・一ha約三十億円で購入した未利用地があります。飯能市の十二万人都市構想により、購入をしたもののまったく手が付けられず現在に至っている土地の利用を検討すること。

中国 5000m峰 大姑娘山に登頂

飯能勤労者山岳会の有志で、七月一四日～二三日、一〇日間のツアーに参加。中国・四川省にある四姑娘山群の一つ、大姑娘山（タークーニャン五〇二五m）に登頂した。

六日間はすべて高山植物のお花畑のなか、その広大さに圧倒され、お目当てのブルーポピーも充分に鑑賞できた。登山は高所順応しながらゆつくりと、ということが高山病の症状は初日に軽く出ただけだった。また、一日五～六時間の歩行だが



岩沢 野尻一夫（69歳）

急登も苦にならず、若い人に付いて登頂でき、日頃の運動（マラソンなど）の賜物と自分を誉めてあげた。北京でアクシデント、悪天候で帰国が一日延びた。得したのか、損したのか複雑な気分。旅行中体調は万全だったのに、最後の日に屋台で食べた昼食のせいで帰国後、下痢で苦しんだのが悔やまれる。さあ！つぎはXX級だ！日頃の運動を頑張るぞ。